

小学2年 図画工作「しぜんからのおくりもので」

柏市立花野井小学校 名前 山田 健二

1. 情報活用能力育成をめざす単元づくり

(1) 単元について

落ち葉や草花、木の実などの自然の材料と触れ合いながら、形や色、並べ方や組み合わせ方など、自分ならどのようなことをしてみたいかと考えてつくる造形遊びの題材である。

身近な材料をもとにして自分のしてみたいことやつくりたいものを考え、発想をふくらませながら主体的に活動する力を培うことをねらいとする。

この学習の中で情報の収集や整理・分析、表現する中で情報活用能力の育成をしていきたい。

(2) 身に付けたい力

- ・ Jamboard やスライドを使用しながら、発表する力の育成。
- ・ iPad を使用して、自分の考えや思いを伝えたり、相手の考えを聞いたりし、意見交換することでコミュニケーション能力の育成。

(3) 学習計画

学習のゴール：1年生に秋遊びの楽しさや面白さを伝える。

| | 時 | 学習内容 ○身に付けたい力 |
|----------|-------------------------|--|
| 1 課題の設定 | 1 | ・ 1年生の時に学習した、「秋となかよし」を振り返り、2年生としての工夫を、秋遊びの楽しさや面白さについて伝えられないか考える。 |
| 2 情報の収集 | 2・3 4・5 | ・ 秋の自然の材料について調べる。 ・ 実際に校庭に出て、秋の自然の材料を組み合わせ、造形の作品を作る。また iPad を使用して作品を写真に収める。 |
| 3 整理・分析 | 6・7 (本時) | ・ Jamboard を使用し、撮影した作品について説明したり、友達からアドバイスをもらったりして、よりよい作品に仕上がるように考える。 ○ Jamboard を使用し、操作だけでなく友達の作品についてアドバイスを送ったり、一緒に考えたりすることでコミュニケーション能力を育成する。 ・ アドバイスをもとに作品を仕上げる。→作品を撮影する。 |
| 4 まとめ・表現 | 8・9 10・ 11・ 12 | ・ スライドの作成の方法について学ぶ。 ・ 撮影した作品についてスライドを使用してまとめる。また作品の紹介文も作成し、1年生にもわかりやすいスライドを作成する。 ・ 1年生にスライドを発表する。 |

| | | |
|-----------------|-----|--|
| | | ○Jamboard やスライドを使用しながら, 発表する力を育成する。 |
| 5 振り返り改善 | 1 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生に向けた発表について振り返りを Jamboard を使用し行う。 ○自分の考えや思いを伝えたり, 相手の考えを聞いたりし, 意見交換することでコミュニケーション能力を育成する。 |

2. 本時について (本時 7 / 13 時間)

(1) 本時の目標

発表の対象者に自分の考えや作品を分かり易く伝えるために, 友達と協力し, より良くする方法を考えることができる。(思考力・判断力・表現力等)

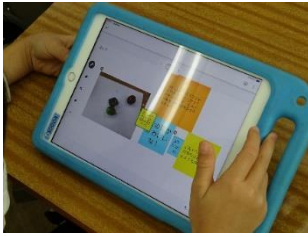
(2) 本時の展開

| 時間 | 主な学習活動 | 指導上の留意点 |
|-----|--|---|
| 3分 | 1 前時に学習した振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ i P a d に収めてある写真を活用し, よりよくするためにどうすれば良いか想起する。 ・ | ●前時までには作った作品を i P a d に写真に複数収めるようにする。 |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> (学) 友だちと きょう力して 作ひんを よりよくしよう。 </div> | |
| 15分 | 2 グループ内で自分の作品について発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各グループの Jamboard を開き, グループ内で友達の作品について共有する。 ・ 自分の作品についてグループ内で簡単に説明し, 発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> ● Jamboard の使用方法を理解出来ていない児童に操作方法について支援する。 ● グループごとに予め, Jamboard を数グループに分けておく。 ● 見る観点 (アドバイスする) を明確にする。 ● アドバイスを書く付箋を内容別に色分けをして視覚的にすぐにわかるようにする。 |
| 15分 | <ul style="list-style-type: none"> ・ グループで友達の作成した作品を見合って, 付 | |



箋を活用して、良い所やより良くするためのアドバイスをする。

- ・ 青色⇒良い所 黄色⇒アドバイス



11分

3 手直しするポイントをまとめる。

- ・ 友達からのアドバイスをもとに Jamboard に何処を次回の授業で直したり,工夫したりするかを書き込む。
- ・ ピンク色の付箋にどこを直すかメモをする。



- ・ 数名の児童が発表する。

1分

4 次回の予告

- iPadを投影し,全体で共有することにより,改善するポイントを明確にする。

- 次回の授業への意欲が高まるように,アドバイスする。

3 実践の流れ

○課題の設定（1時間目）

1年生で学習した秋集めの学習でどんな物を作ったのか振り返った。2年生でも秋の自然を使って作品を作ってみようと言った。また、今年はまだ作品を作るのではなく、その作品を1年生に紹介すると伝えると学習意欲が高まった。ゴールが明確になり、自分がどんな作品をつくるのか一人一人がしっかりと考え始めた。

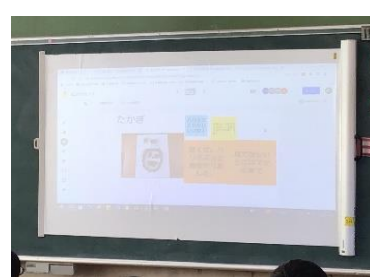
○情報の収集（2～5時間目）

まず、どんな秋の自然の材料があるか話し合いをした。その中で知っている知識だけでなく、図書館指導員と協力して、秋の自然に関する本などを平行読書し、秋の自然の材料を見つける範囲を広げたり、知識を深めたりした。そして、校庭に出て、どんな秋の自然が使いそうか探した。足りない材料は、自宅近くの公園や休日の宿題として様々な材料を集めるように取り組んだ。

集めた材料で、自分がイメージする様々な作品を制作した。それを iPad で撮影し、画像として残した。

○整理・分析（6～7時間目）

児童を1グループ4名から5名程度のグループにわけた。各グループの Jamboard を作成し、自分のシートに作品の画像を貼り付け、グループ内で共有できるようにした。そこにグループの友達から作品の良い点を褒めてもらったり、よりよくするためにアドバイスをもらったりした。それをもとに、作品をよりよくするために、足りない材料を集めたり、作品をどのように修正したりするか考えた。そして、修正した作品を iPad で撮影し、画像に収めた。



★1人1台端末

自分の作品を写真に撮影し、Jamboardを使用し、作品を共有し、感想やアドバイスを付箋で書き込む。

アドバイス前の作品 テーマ「恐竜」



アドバイス後の作品



この児童は、友達から同じ材料しか使っていないので、「他の材料を集めてみてはどうか」「色を茶色以外の色を加えたら」というアドバイスを受けて、材料を新たに集めて作品を修正した。

アドバイス前の作品 テーマ「看板」



アドバイス後



この児童は、自分のお家が営んでいるお店の看板をテーマに作品を作りました。友達から「もう少し目立つように」「見やすくするといい」というアドバイスを受けて、自分で色味を工夫したり、見え方を工夫したりして修正した。

★1人1台端末
スライド作り

〇まとめ・表現（8～12時間目）

1年生に自分の作品を紹介するために、今回はスライドのアプリを使用した。そこで、このアプリが発表の際に適していることを学び、使い方について1時間学んだ。

次に、一人一人がスライドの作成に入った。スライドは表紙を入れて5枚にした。内容は全て統一した。児童のアプリの操作の力にも差があるので、担任からシート内容を示す形にした。

①表紙⇒②集めた材料について⇒③1回目の作品について⇒④2回目の作品について⇒⑤1回目と2回目の写真の比較についてという内容にした。

iPadでのスライドの使用はchromebookと操作が若干違う所があったが、児童は比較的スムーズに作業することができた。やはり、形を統一したことで、作業を苦戦する児童が少なかった。

あつめたざいりょう



こうていや、
ちかくのこうえんで、
みつけてひろったよ。

くまの、えがお



ぼくは、えがおをつくりまし
た。
あきなので、おちばをくだい
てのせました。
まつぼっくりで、かみのけや
めをつくりました。

みんなの、えがお



みんなからの、アドバイスを
つかって
つくりなおしました。かえた
ところは、2つあります。1
つめは、めを、くるみとあか
いおちばにかえました。2つ
めは、くちをあかいおちば
に、かえました。

次に学級の児童の前でそれぞれの作品のスライドを発表した。その中から学級代表作品を6名選び、1年生2クラスに発表した。写真を使用して、1回目の作品のポイントと友達からどのようなアドバイスがあり、2回目の作品はどの部分を変更し、工夫したのかを発表した。写真やコメントを入れて、比較できるように作ったので、1年生に上手に発表することができた。



○振り返り・改善（13時間目）

これまでの学習を振り返って、Jamboard を使用して感想をグループで書き込み共有した。感想の中には、「友達からのアドバイスで作品をもっと良くすることができた。」という内容が多く見られた。

実践を終えて

子どもの変容（アンケートや作成物等をもとに）

- ・ 今回の学習を通して、児童は話し合いをととても上手に行うことができるようになった。
- ・ 話し合いをする際に iPad・Jamboard を使用することによって、画像を共有しながら話し合いをすることができ、非常に円滑に行うことができた。
- ・ Jamboard の付箋を使用するので、気軽に簡単に感想やアドバイスを書き込むことができた。児童も、グループの児童から褒められたポイントが Jamboard 上に残り、振り返ることができるので児童の作品を作る上での意欲の向上にも繋がった。
- ・ ゴールを1年生に自分の作品を発表するという設定をし、1年生にも伝わるように工夫してスライドを作成する力が伸びた。
- ・ 1人1台端末を使用して、グループで話し合いに活用して、また1人でも作業をすることで、話し合いの力が身に付いただけでなく、自分の作品について説明する力を伸ばすことができた。

振り返りの言葉

この單元では、1人1台端末を活用し、

①Jamboard やスライドを使用しながら、発表する力の育成。

②iPad を使用して、自分の考えや思いを伝えたり、相手の考えを聞いたりし、意見交換することでコミュニケーション能力の育成。

という2つを身に付けたい力として目標を設定した。その中で、iPad を活用することで話し合いが円滑に進む場面が多く見られた。また、画像や友達への意見・アドバイスを共有することで活発に意見交換することが増え、普段発言することが苦手な児童も積極的に意見を交換する場面が見られた。また、スライドの操作方法を理解したことに他教科でも活用することができ、発表する力が伸びたことを実感した。